



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2384 URL <https://www.sbs-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 遠藤 隆 (TEL) 03 (3829) 2222  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	93,002	35.2	4,737	△6.7	4,703	△7.1	2,220	△27.7
2020年12月期第1四半期	68,809	6.5	5,079	32.4	5,064	35.8	3,073	36.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 3,089百万円( 3.9%) 2020年12月期第1四半期 2,971百万円( 17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	55.91	—
2020年12月期第1四半期	77.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	262,500	69,704	19.7
2020年12月期	254,550	68,146	19.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 51,628百万円 2020年12月期 50,755百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	47.1	9,000	44.2	8,900	41.8	5,400	30.7	135.96
通期	380,000	47.7	15,000	36.8	14,800	36.0	8,400	23.0	211.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期1Q	39,718,200株	2020年12月期	39,718,200株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年12月期1Q	575株	2020年12月期	575株
-------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年12月期1Q	39,717,625株	2020年12月期1Q	39,717,625株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日~2021年3月31日)は、前年来の新型コロナウイルス感染症拡大が終息の気配を見せず、1月に緊急事態宣言が再発出された影響もあり経済の回復にさらに遅れが生じることとなりました。他方、外出自粛に伴う「巣ごもり消費」を背景に前年急伸した生活必需品やネット通販などの需要拡大が続いており、当社グループはお客様、取引先ならびに従業員の感染防止と安全確保を最優先に取り組みながら、こうした需要に応えるべく積極的な対応を図ってまいりました。

また、前年11月に株式の66.6%を取得したSBS東芝ロジスティクス㈱は本年1月から連結業績への寄与を始め、さらに本年1月に東洋運輸倉庫㈱の全株式の取得が完了し連結子会社化したことも加わって、当社グループのサービスラインナップは一層拡充され、物流サプライチェーンを強固にサポートする体制を整えております。

その一方で、当連結会計年度第1四半期に予定していた物流不動産の流動化が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で当第1四半期内に実施できなかったこともあり、業績については、売上高は前年同四半期より241億93百万円増(+35.2%)の930億2百万円、営業利益は同3億42百万円減(△6.7%)の47億37百万円、経常利益は同3億60百万円減(△7.1%)の47億3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同8億52百万円減(△27.7%)の22億20百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### (物流事業)

物流事業では、既存顧客との取引拡大に加え、高い物流機能を求める新規顧客の獲得に注力しました。当第1四半期においては、SBS東芝ロジスティクス㈱の新規連結に加え、前年同四半期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きく落ち込んだ企業間物流が回復傾向を見せており、即日配送事業における電子商取引(EC)需要の取り込みや、生活物流・ネットスーパーなどの分野における需要拡大と相まって堅調に推移しました。その結果、物流事業の売上高は前年同四半期より312億87百万円増(+52.7%)の906億32百万円、営業利益は同29億7百万円増(+208.8%)の42億99百万円となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループの3PL、4PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業では、グループで保有する倉庫、オフィスビル、レジデンス等から賃貸収益を得ています。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しており、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

当第1四半期は、南港物流センター(大阪市)の信託受益権を譲渡し流動化することを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で当第1四半期内に実施できなかったことから、前年同四半期に長津田物流センター(横浜市)の信託受益権の40%を譲渡したのと比較して収益が減少しました。その結果、不動産事業の売上高は前年同四半期より71億93百万円減(△93.2%)の5億28百万円、営業利益は同33億6百万円減(△91.5%)の3億8百万円となりました。

#### (その他事業)

その他事業の主なものは、人材派遣事業、マーケティング事業、太陽光発電事業及び環境事業です。人材派遣事業は厳しい状況にある一方で、太陽光発電事業や環境事業が利益を伸ばした結果、その他事業の売上高は前年同四半期より98百万円増(+5.7%)の18億41百万円、営業利益は同24百万円増(+26.9%)の1億13百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,625億円となり、前連結会計年度末に比べ79億49百万円増加しました。これは主に、東洋運輸倉庫㈱の新規連結に伴う固定資産の増加等によるものです。

負債は、1,927億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億91百万円増加しました。これは主に、東洋運輸倉庫㈱の新規連結に伴う借入金の増加等によるものです。

純資産は697億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億58百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、並びに非支配株主持分の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界各地で新型コロナウイルス感染症の拡大が終息の気配を見せず、今後も経済活動の抑制が続くことで当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。物流事業においては営業活動をさらに強化し、需要が旺盛な生活必需品やネット通販の取り込みにも引き続き積極的に対応することで、当第1四半期における前年同四半期からの回復基調を、第2四半期以降も維持してまいりたい所存です。

さらに、新規連結したSBS東芝ロジスティクス㈱、東洋運輸倉庫㈱等の収益が新たに業績寄与することも織り込んだうえで、2021年12月期の見通しに関しては、サマリー情報の「2021年12月期の連結業績予想」のとおりといたします。また、当第1四半期に実施できなかった物流不動産の流動化は第2四半期以降の実施を予定しており、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,543	22,091
受取手形及び売掛金	55,189	55,357
たな卸資産	13,236	15,354
その他	8,596	12,229
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	104,530	104,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	62,253	70,266
減価償却累計額及び減損損失累計額	△40,564	△46,918
建物及び構築物(純額)	21,689	23,347
機械装置及び運搬具	31,632	31,986
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,556	△18,886
機械装置及び運搬具(純額)	13,076	13,099
土地	49,424	55,006
リース資産	7,234	6,895
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,519	△4,322
リース資産(純額)	2,715	2,572
建設仮勘定	7,231	6,267
その他	8,268	8,294
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,225	△6,279
その他(純額)	2,042	2,015
有形固定資産合計	96,179	102,310
無形固定資産		
のれん	8,895	9,369
顧客関連資産	21,108	20,925
その他	3,491	3,720
無形固定資産合計	33,495	34,014
投資その他の資産		
投資その他の資産	20,421	21,252
貸倒引当金	△76	△75
投資その他の資産合計	20,345	21,177
固定資産合計	150,020	157,503
資産合計	254,550	262,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,828	29,725
電子記録債務	4,574	4,345
短期借入金	42,790	45,246
1年内返済予定の長期借入金	9,765	12,399
未払法人税等	2,498	1,916
賞与引当金	2,403	4,762
その他	18,241	17,551
流動負債合計	111,102	115,946
固定負債		
長期借入金	45,047	45,248
退職給付に係る負債	11,579	11,606
その他	18,674	19,994
固定負債合計	75,301	76,849
負債合計	186,404	192,795
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	43,722	44,552
自己株式	△0	△0
株主資本合計	50,293	51,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	440
為替換算調整勘定	△89	91
退職給付に係る調整累計額	95	△28
その他の包括利益累計額合計	462	503
非支配株主持分	17,390	18,076
純資産合計	68,146	69,704
負債純資産合計	254,550	262,500

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	68,809	93,002
売上原価	59,799	82,464
売上総利益	9,009	10,537
販売費及び一般管理費	3,929	5,800
営業利益	5,079	4,737
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	19	19
持分法による投資利益	105	153
その他	42	92
営業外収益合計	174	270
営業外費用		
支払利息	163	223
その他	26	80
営業外費用合計	190	304
経常利益	5,064	4,703
特別利益		
固定資産売却益	23	28
特別利益合計	23	28
特別損失		
固定資産除却損	2	197
その他	10	14
特別損失合計	13	212
税金等調整前四半期純利益	5,073	4,519
法人税、住民税及び事業税	2,184	1,950
法人税等調整額	△324	△466
法人税等合計	1,859	1,484
四半期純利益	3,214	3,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	141	814
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,073	2,220



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	3,214	3,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	△46
為替換算調整勘定	△40	275
退職給付に係る調整額	30	△179
持分法適用会社に対する持分相当額	20	4
その他の包括利益合計	△242	54
四半期包括利益	2,971	3,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,826	2,262
非支配株主に係る四半期包括利益	145	826

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	59,345	7,721	1,742	68,809	—	68,809
セグメント間の 内部売上高又は振替高	104	24	96	224	△224	—
計	59,449	7,745	1,838	69,033	△224	68,809
セグメント利益	1,392	3,615	89	5,096	△16	5,079

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△31百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	90,632	528	1,841	93,002	—	93,002
セグメント間の 内部売上高又は振替高	123	24	113	260	△260	—
計	90,756	552	1,954	93,262	△260	93,002
セグメント利益	4,299	308	113	4,721	15	4,737

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益1百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。